

四国の森づくりシンポジウム発表団体資料

団体名	こうち山の日ボランティアネットワーク
1 代表者	高橋 重敏（森の応援団・さんりん倶楽部）
2 事務局住所	〒780-0046 高知市伊勢崎町8 - 24 （社）高知県山林協会内 TEL：088-822-5331 FAX：088-875-7191 担当：永野 俊彦
3 団体の目的	「こうち山の日」（11月11日）の制定趣旨に賛同し、森林保全を目的として行動する団体の情報交換や連携を図るとともに、広く県民に対し、森づくりに関する情報や機会を提供することで、県民参加の森づくりをより一層推進し、森林に対する理解と関心を深め、また自ら行動することで森林の持つ多面的機能の発揮に寄与する。
4 会員数及び構成	森林保全ボランティア団体 19団体（約480人） 高知県内で活動する森林保全ボランティア団体などが構成団体となっている。
5 活動をはじめたきっかけなど	高知県では平成15年度に森林環境税が創設され、また、11月11日が「こうち山の日」として制定された。 これを契機に高知県内では森林保全ボランティア団体が平成14年度の5団体から約4倍に増加し、県内各地で活動が行われるようになった。 それらの団体が、それぞれで活動を行っており、森林保全ボランティア団体同士の連携も少なかったため、森林保全ボランティア団体のなかで連携した取り組みが必要との意見が出て、ネットワーク団体を組織することとなった。

6 現在の活動内容

・森林保全ボランティア研修事業

労働確保支援センターと連携して、新しく森林保全ボランティア活動に取り組もうとする方々を対象に安全研修を実施。

チェーンソーの取り扱いに関する講義や伐倒の実技など9月から5回実施予定で、受講者に対し、修了証書を発行する。

・企業と連携した森林保全活動

本ネットワークと高知県高知市に本社のある（株）山崎技研との間で、同社の所有する山林を森林保全ボランティアグループの活動や県民の森林保全の学習の場所として解放する旨の協定を結んだ。

また、その森林の保全活動を行うにあたっては高知県で実施している森林環境税を財源とした森林保全ボランティア活動支援事業による助成をうけるとともに、（株）山崎技研からも、県と同額の支援をいただけることになった。

行政だけではなく、民間企業の支援もあわせてうけることにより、森林保全ボランティア活動が促進されるようになった。

・会員同士での情報共有化

会員同士での活動内容の共有や、情報発信を行う。また、行政からの情報の提供や行政との連絡調整などの窓口としての役割を果たす。

7 今後の展開

現在は、森林保全ボランティア団体の研修を中心とした活動を行っているが、今後は、多くの県民に森林の大切さを伝えると共に、森林保全ボランティア活動の裾野を広げる取り組みも行いたい。

